

令和5年度 外部評価委員による評価表

静岡学園中学校・高等学校

【総合所見まとめ】

●コロナウィルスへの対策が最優先だった時期を終え、教育への取り組みが充実してきたことが端々に伺えます。特に、システムの入れ替えによる先生方の業務の改善については、目を見張るものがあります。また、行事や生徒支援においては、多様な生徒に丁寧に関わっていることがわかります。一つだけ気になることがあるとすれば、学校の取り組みに関する評価であるため、どうしても学校が記述の主体となり、生徒の自主性が見て取れないことでしょうか。

● 評価表の教科については判りませんので記載しておりません。また、各重点目標の進捗評価も基本的には自己評価を尊重しております。教職員の皆様方がこの1年間真摯に取り組まれてきた状況は、資料や委員会での説明からも十分伝わって来ます。▼お蔭さまで私自身も貴校の運営方針・指導方針についての理解が年々深まって来ています。▼コロナ禍の困難を乗り越えて多方面で成果を上げて来られたのは、教職員の皆様方や生徒達の努力の賜物と思います。今年度も引き続き頑張ってください。▼生徒指導の面で一点だけ指摘させていただきますが、自転車に乗っている生徒の右折左折時の交通安全上のマナーが気になることが時々あります。歩行者だけでなく運転者自身の身を守るためにもルール・マナー遵守を生徒達に徹底させる指導をよろしく願います。

● コロナ禍における様々な経験や体験等を今後に活かしていただきたい。特に、生徒一人一人を生かそうとした取り組みが進められてきているので、一層よいものにしていただきたい。また、研修に力を入れ、よりよい授業、分かりやすい授業を目指していただきたい。

● (学年)共通して中間層のレベルアップ、やる気度アップを図る施策に注釈して欲しいと思いました。高3生をいい事例として、自発的になるような刺激ある向上心をくすぐる施策を期待します。(事務局)毎年、予算配分の優先順位に苦慮されているように思いますが、次年度も心機一転で奮闘願います。(教科)情報Ⅰが、新科目で大変だと思いますが、ここに力を入れ、結果を出せば、次年度以降、生徒募集時に声高々に私立の優位性をうたえるので、理系の先生だけに任せず、総力で新高3生に高得点、高い平均点を打ち出せるように尽力願います。また、英語では、英検にとどまらず、IELTS、TOEFLなどの検定の推進や、文理問わず必須科目ゆえの私立らしい特徴ある授業や得点UPについて、もっと多くの施策を試みてほしいです。その結果、定員割れを起こさない学校になれると考えます。(分掌)各部には各々コメントさせていただきました。いい所は、継続願います。一部目標や目的を再度見直す必要がある所は、再考願います。(総合所見)委員長が、皆さんの表現が上手になってきていると、冒頭に挨拶されましたが、ここ数年、ほとんど指摘らしい箇所は皆無です。▼システムとしては機能しているのではないのでしょうか。ただし、本校だけではなく、メンタル面におけるケアの部分で、生徒のみならず、保護者や教員も相談できるようなカウンセラーの人的サポートは今後必須ゆえ、高いアンテナを張り巡らし、喫緊の課題として確保したいところですね。微力ながら、情報あればすぐに提供いたします。▼最後に、新課程入試を踏まえると、私立大への人気に偏りそうな気配がありますが、国公立大100名以上の目標は外さずに、なぜ国公立がいいのか!?コスパがいいに決まっていますし、平均的に学業全体のレベルが一定以上なければ、合格できないところに最大の価値があります。大学卒業後も、自身の基礎学力に大きな差も生じます。一人でも多くの生徒が国公立志望になってくれることを祈願します。皆同じ条件だから、大変そう・ピンチ・これはチャンス!として捉えて欲しいものです。

●以下、いくつか私見を記させていただきます。▼4月から医療や運送業の残業規制が始まりました。公立学校教員の「給特法」改正はまだまだ先のようなのですが、無理をせず業務に取り組んでください。先生が心身ともに疲れていると、それが生徒にも伝わります。その辺りが一般企業とは異なるでしょう。教員の多忙化はやむを得ないところもありますが、だからといってそのままにしておいていいわけではないと思います。▼情報化の推進は業務の効率化、負担の軽減に役立てなければ導入の意義が薄れるでしょう。同時にセキュリティにも十分な留意を。最近では、病院がVPN機器の不備を突かれた事件が起きています。電子カルテも実際にはクローズドになっていません。▼防災安全体制の推進に関して提言を。無理のない範囲で志願者を募り、「防災士」資格を取得してもらってはどうか。まず、静岡県が実施している「ふじのくに防災士」養成講座に参加して「ふじのくに防災士」の資格を取得(試験なし)。これがあれば日本防災士機構の「防災士」試験を受験できます。試験は簡単だが、「ふじのくに」養成講座の約10回の講義に参加する必要があります。防災士資格を取得しても実質的な効力はありませんが、防災への関心と知識を高めることができますし、周囲へ説得力ある呼びかけができます。愛媛県教育委員会は教員採用試験で、情報処理技術者や防災士の資格取得者に加点をしています(試験要項より)。▼学校の危機管理に関しては、学校法人の顧問弁護士との連携を密にすることが望ましいと思います。安全配慮義務違反が問われる場合、予見可能性と結果回避可能性について対応できるように日頃から検討を。「状況に応じて必要な役割を校長が指名する」とありますが、インシデント・アクシデントの記録担当を置いておく必要があるのでは。「危機」の内容、原因、経過、対応者を記録し、情報共有をする必要があるでしょう。「危機」とは頻繁に起こるのではなく、皆が忘れてい、対応経験者がいない時に往々にして起こるものです。何か起きた時に参考になる文書や人物を明確にしておくことも重要だと思います。

【学年・教科・分掌についての評価と提言】

評価 A ほぼ達成(8割以上) B 概ね達成(6割以上)
C 変化の兆し(4割以上) D 不十分(4割未満)

学年・教科・分掌	担当	No.	令和5年度重点目標	委員評価	外部評価委員の意見及び次年度への提言
中学部		1	生徒・保護者に信頼される安全・安心な学びの場を提供する。	A	●BLENDによる行事の配信は、何件だったのか、最低でも月1回程度のレベルでしょうか。約1割の保護者の回答が、建設的でない可能性があります。生徒と保護者が同意見でしょうか。また、学力や生活態度などの指標と比較して、1割の方の中に、成績優秀者、生活態度の模範者のような方がいて、参考意見があれば、検証すべき内容になると思いますが、希少な意見はどのような具合でしょうか。マイノリティ故、参考にする程度であれば、特筆すべきではないと思いますが、●義務教育の中で、私立中学校を選択した理由は様々と思う。その様々な期待に応えるため部会や教育相談、連絡会において情報を共有し、生徒、保護者に理解と協力を得られるよう努めたことは評価出来る。●担任が一人で抱え込むことなくチームで対応するという姿勢は今後も継続してほしい。
		2	主体的に学習する姿勢と習慣を身に付け、学力を向上させる。	B	●学習する習慣は、中学生である程度身に付けていただかないと、スムーズに高校から自主的に行う流れがうまくいかないことが多いと思います。各学年の平均学力が、前期より低くなることのない、中2、中3が、前の学年(例:中2生が中1生だった時より)より下がりがないか等、管理値を入れて、管理値を入れて、修正が図れる対策を講じてもらえたいと思います。●目標及び達成のための具体的事項は、重要であり、また成果も一朝一夕には現れない事柄ではあるが、ご指導、各取り組みを期待しています。●まずは学習の習慣づけを徹底し、学ぶ楽しさを根付かせてほしい。●「主体的に学習する」ということの捉え方が狭いのではないかと。
		3	様々な体験や充実した学校生活を通して、静学のリーダーにふさわしい人間性の陶冶と成長を促す。	B	●計画した「学級力向上プログラム」が実施できなかったことは、残念ですが、事由があると思いますので、次年度以降、計画に取り入れるべきなのか、又は違った形でアプローチするのめ、計画の見直しが必要になるので、本項目の計画は慎重に見直しをしたいと思います。中3のSGT参加率が低かったことも含め、問題点は少なくない気がします。●将来の高等学校で中核となる生徒の育成に取り組んでいくなか、生活習慣、学習習慣を柱にしていること、的確だと思います。部活動への参加状況、学校生活における位置付けについても関心を持ちました。●難しい目標であり、簡単に実現できるとは思えない。まず中間目標を設定すべきではないかと。
	高校1年	4	高校3年間の基礎となる生活指導や服装指導などの初期指導を丁寧に行う。	B	●服装(身だしなみ)の乱れは、心の乱れにつながるケースが多く、静学創始者の牧野賢一先生は、身だしなみについては、厳格な体制をされていました。管理の仕方はお任せしますが、生徒及び保護者の方には、高1初期の段階で、再徹底していただくように強くお願いいたします。加えて所作法が、美しい方が日本人らしいと思いますので、世界のリーダーに恥じぬふるまい教育をお願いいたします。●服装指導に関して「実際にどのような服装が正しいものであるか具体的に説明」の内容はわかりませんが、生徒自身がそれを理解し、着こなしの意義を理解出来る内容にして欲しいと感じます。●初期指導は徹底を。●取り組みを行ったという点ではA評価であるが、取り組みの成果にして目標を立てるべき。
		5	後悔のない文理選択ができるよう、計画的に指導を行う。	A	●文理選択は、本人が熟考した上で、判断すると思います。直前まで変更することに学校側が躊躇するのはではなく、良き選択肢を与えたものと解釈しましょう。自身の人生ですから、先生のサポートは直前まで、真摯に向き合ひ、最善の選択ができるようにサポートすることに徹してあげてください。高2、高3、浪人して、文理選択を変更する方も沢山いると思います。型にはめすぎないようにしましょう。●文理選択は、高校生活のみならずその後に大きな影響を与える決断です。文理の枠の有無、希望が叶わなかった生徒へのフォローはどのようなものが、気になります。
		6	上位層を伸ばし、中下位層を引き上げる進路指導を行う。	B	●上位層、中間層などの割合を示して欲しいです。また、学習指導について、長短目標や、達成度、教科の補強等、具体的な項目も知りたかったです。自主性を期待し、機会を与え、それが思うように結果が出ませんでした。●評価してください。それはいいな一と思います。Z会の件は大変良い試みですが、受講した生徒の結果がないと次の対策が図れないと思いますので、PDCAをうまく回しましょう!●基本的な学習習慣を身に付けることから始まり、上位層の拡大を目指す取り組みとして、Z会の団体受講サービス、進研学力模試に向けた過去問題を配付等、評価出来る取り組みと見ます。●学力向上には進路指導も影響するのは確かですが、学力向上が目標なら別の取り組みが適切であり、進路指導の評価であれば進路(意識)に関する成果を評価すべき。
高校2年	7	進路実現のための土台として、生徒の基礎学力を定着させるとともに志を高く持たせる。	A	●朝テストの頻度、教科において、基礎学力の向上とは、何をもちて図っていらっしゃいますか。また、スタディーサポートとはどのような手法で勉強させているのでしょうか。更に、偏差値50付近が一体何割の生徒に当たり、何が足りなかったのでしょうか(原因が知りたいです)。●社会貢献をテーマにした探究活動と自身の進路との関連付け。受験へのモチベーションの維持と、高校卒業後も学び続ける力の維持。これらの取り組み、指導は、大いに評価出来ると思います。●成果が数字で把握されており、改善方針も立てられている。	
	8	修学旅行など学校行事、部活動や学校外の活動に積極的に参加させることで、人間としての幅を広げる	A	●できたら、参加率を掲載してほしいかもしれませんが、概ねよかったですのではないのでしょうか。●異文化への理解、関心を高め、自国の文化を見つめなおす取り組み。また、集団行動を通じて規律を守ること、他者を尊重することの大切さを理解させる取り組み。それらを通して学校生活の中核、中心となる生徒の成長が大いに期待出来る。	
	9	学業や諸活動に集中して取り組むことができる環境をつくる	B	●高1の時に、徹底指導できていないと、なかなか環境づくりは高評価につながりにくく思いました。苦慮されているのはよく分かります。一度、家庭環境や部活動の有無と比較したデータを取ったり、所作法の重要性が、日本人たる所以であることを強く認識する機会や褒賞制度も取り入れたいですね。●メンタル面での問題は、難しいケースも多いと思います。、学業や部活動、人間関係の悩みを抱えている生徒がいる中、教員個々の指導力、対応力も問われるようになっていくと感じました。●生徒の姿で現状が把握されているため、今後の改善が期待できる。	
高校3年	10	探究系を中心に、堅実で能動的な学びを追求させ、国立100名以上、難関私大150名以上を目指す。また、一般系を中心に、努力の結果としての進路実現を追求させる。	A	●結果を産み出す基盤となる人間性の陶冶と成長に次年度も力を入れたい。●一つの大事な指標になる「共通テスト」の結果を追求していくのも評価項目にしてみたいかと思いますが、まとめる時間もあって、管理しやすいと思います。500点以上が6割など、文理で違えば、そそで検証してもいいと思います。●私立の高等学校としての評価にやはり大学合格実績は、大きな項目です(当然、これ以外の取り組みに対する評価も重要ではありますが)。今年度の実績を学園の教育力、指導力として大いに評価いたします。●数値目標が示されているのに、数値に基づいた評価がなされていない。	
	11	部活動、SGT、ボランティア活動など、様々な活動を継続、集大成としての結果を求めるとともに、活動の中で、自分自身の人間的な力、総合力を伸ばすことを目指す。	A	●高3生対象のSGTがあってもいいかもしれませんね。夏ごろに、受験に向けたアプローチなど。提案まで。●「自分自身の人間的な力、総合力を伸ばすことを目指す」という目標及び達成のため「ア〜ウ」の具体的事項に大いに意義を感じます。●新型コロナウイルス感染症の影響は、今後も検証が必要。心身の調子を一概にコロナのせいにするわけがいかない。対人関係の構築が難しい年代だけに寄り添った指導を求めたい。●取り組んだことが評価されているが、目標の達成が評価されていない。	
	12	生徒が安心して生活できる環境を整え、規律ある生活の中、学校生活を一層充実させ、下級生に対して範を示すことを目指す。	A	●範を示せる高3生を、継続して育てていきましょう!お願いします!●重点目標が的確であり、自身が、3年間あるいは、6年間の学園教育の成果感じ、下級生への良き範として受け継がれてほしいと思います。部活動の活躍をはじめ、各クラスの精力的な取り組みも素晴らしいと思います。	
総務課		68	財務状況の改善	A	●収支改善ができたことは、総務課様のご尽力のおかげだと思います。そこで、次年度以降は、収支計画に対する目標を比率で構わないので開示できないでしょうか。●電力使用量の比較の際は、支払い料金の比較ではなく使用量(kw)の比較により使用量削減を図っていくべきだと思います。●物価高騰の折、勘定合わせも難しさが伴う。そこで支出削減は極めて重要だが、必要なものには十分に対応してほしい。
		69	施設・設備新設・更新及び修繕の計画的な実施	A	●優先度の高い事業の中身の確認ですが、「安全性」が第一優先にされていますよね。防水工事は10年に1度の可能性が高いですが、最近は材料性能も高く、その寿命が伸びているはずですが。設計事務所がしっかりしているから、大丈夫だと思いますが、対費用効果も鑑みて、修繕サイクルはアップデートできるようにチェックはしておいて欲しいと思います。●目標を達成するために行った具体的事項をみる限り、適切な取り組みと、期待した成果は得ることが出来たと思う。
	事務局	70	学納金の確実な収納	A	●延滞者等、督促対応を取るのには、仕方ないと思いますが、厳正に、ルールを決めて最後は公的手段が図れるように、対策マニュアルをご用意願います。すでにマニュアルがあったり、保護者様に入学時に説明をしているのであればご容赦ください。マニュアルがあれば、そのまま継続でお願いします。●目標を達成するために行った具体的事項をみる限り、適切な取り組みと、期待した成果は得ることが出来たと思う。
71		入学定員の確保(中学90名、高校360名)	B	●情報収集に力を入れたい。●中学は目標数達成でOKだと思いますが、高校は定員確保できていなかったのであれば、事務局様の評価の通り、次年度以降の対策強化を図っていきましょう。なお、定員数未定の場合は、入学後の偏差値管理で、高水準を目標にして、生徒も保護者も教員も満足度が高くなり、且つ単願者数が増やせる対策を講じていきましょう。●中学入試では志願者と合格者との差がありますが、それは不合格者が出ているということでしょうか。事前相談などの調整はないのでしょうか。●改善のための方策が立てられているので、来年度に期待したい。	
72		特待・奨学金制度の検討	A	●特待・奨学金制度について、予算配分は、学校全体の割合になりますか?各学年で配分されますか?また、県や市の動きに変化が出てくるのか、情報収集には細心の注意を払い、スピーディーに対処できるようにアンテナは高く張り巡らせ、有用に活用できるものがあれば展開しましょう。●特待・奨学金制度については、それが生徒のモチベーション向上との関連性について考えた上で、見直し検討という改革が必要では、と思います。●検討自体はきちんと進められているように思う。	

【学年・教科・分掌についての評価と提言】

評価 A ほぼ達成(8割以上) B 概ね達成(6割以上)
C 変化の兆し(4割以上) D 不十分(4割未満)

学年・教科・分掌	担当	No.	令和5年度重点目標	委員評価	外部評価委員の意見及び次年度への提言
教 科	国語	13	自らの目標に向かって主体的に学習に取り組む生徒の育成	A	●最も基本となる教科ゆえ、共通テストの目標値とその結果を見ると、高評価に値します。次年度以降、生徒が変わる中で、目標値を維持していくことは大変ですが、この目標数値は最低限守って欲しいと思います。生徒には、今後も、目標設定、実行、チェックなどPDCAを回せるように指導願います。●国語が学習の基盤となる資質・能力の一つである「言語能力」の育成であり、一方で英語同様文系、理系にかかわらず受験科目として重要であることは、明白である。しかし、学習と学力の向上が直ちに結び付かない科目でもある。学園の家庭学習充実を促すための指導を1次年から計画的に行い、定期テストの振り返りや小テストを積み重ね、共通テストを念頭に置いた指導は、的確なものと思われる。
		14	共通テストや新指導要領に対応した、効果的な指導方法の開発と授業改善	A	
		15	大学入試に対応できる学力の育成	A	
	社会 地歴・ 公民	16	生徒の学ぶ意欲、主体的に学習に取り組む姿勢の育成	A	●毎年、データ比較することで、次年度以降の対策に変化が必要か、更に工夫が必要か、検証することが出来ます。したがって、共通テストの結果は、数値化できるようにしておいて欲しいです。生徒には、平均値管理でも、8割以上が何%でも構わないので。●地歴公民各教科において重要なことは生徒が如何に関心を持ち主体的に学習に取り組んでいけるか、ということと考えられる。そしてその取り組みが学力向上に結びついていくという循環に繋がる。指導力育成研修や各種研究会に参加し、教科についての知見を深めるとともに、授業指導力を高める事が出来たことは、評価出来る。「SDGsを含めて現代社会の諸課題を意識するような授業実践を行うことができた」という評価は、的確なものと思われる。
		17	新入試や新指導要領に対応した授業の改善	A	
		18	大学入試に対応できる学力の育成	A	
	数学	19	自ら学ぶ意識を持ち、主体的に学習に取り組む生徒を育成する。(指導)	A	●重点目標・計画・達成共に今年度までは申し分ないと思います。ただし、いよいよ新学習指導要領に基づく結果が出る時期になってきます。どんなときでも、「試験&結果」が出るのが、当たり前なので、理解度や定着度を図り、次年度以降に対策を講じる職員側に取り、結果は生と同様、特に重要だと思います。そのため、各テストの目標値や、特に共通テストにおける目標値は外さない方がベターだと思います。結果が伴えば、単願者の入学者増につながるアクションにもなるので。●重点目標として、教科指導、教材研究、教科内組織をしっかりと掲げており、的確な方向性を感じる。入試において点数の差が大きい教科の一つであり、苦手なため国公立大学受験を断念せざるを得ない生徒もいるのではと、推察します。そのような中で結果を出しているご指導に対し感謝いたします。
		20	多様化する入試に対応できるような指導方法を研究する。(教材研究)	A	
		21	教員の教科観の共有、授業内容・指導方法・評価方法を検討する場として教科部会を機能させる。(組織)	A	
	理科	22	学年ごとに存在する教科としての課題を踏まえた授業改善、指導案の構築そして学年間での情報共有	A	●理科が強い生徒を輩出できるのは、学校の特徴として堂々と戦える要素になります。目標・計画共に良いと思いますので、継続願います。数学同様、目標には共通テストの管理を入れ、差別化できる学校の特色になることを提案いたします。●理系教師の指導力の高さが国公立大学の合格実績と結び付いていると考えられる。重点目標、「学年ごとに存在する教科としての課題を踏まえた授業改善、指導案の構築そして学年間での情報共有」とその為の具体的施策及び計画及び重点目標を達成するために行った具体的事項は、いずれも的確である。
		23	薬品の精査と管理徹底および理科室内の備品の整理と点検	A	
	英語	24	生徒の学力向上のため、組織的な指導体制を確立させる	A	●世界共通用語である英語が苦手である生徒は、正直、当校への入学は厳しいと思わせるぐらい、英語は当たり前の体制を図ってほしいです。目標値は、最低限維持し、近い将来は目標値自体をもっと高レベルにしたいです。世界のリーダーで、英語が話せない方は皆無です。また各私立校で英語教育に力を入れていない学校も聞いたことはありません。大学入学後は、絶対英語論文、英語による論文発表が当たり前な時代ですから、国語と同様に高い水準で管理するように願います。現況、成績不良者においては、手厚いサポートで、もつと危機感をもっていたくように、保護者様に英語で通知するなど、家族も巻き込んだ英語対策を図っていただきたいです。また、TOEFL対策講義も入れて、海外留学への道も積極的に取り入れるべきだと思います。●国語同様文系、理系にかかわらず受験科目として重要であることは、明白である。共通テストの目標値を見て3年間、6年間の指導の一つの満足できる評価材料としたことにも同意できる。実用英語技能検定に延べ人数で対前年比約2倍の生徒が受験し、卒業時における英検取得率は準2級は約50%、2級は約40%という結果は評価されるであろう。一方で赤点対象者のみならず候補者に対しても、指導が計画的・継続的に行われており、評価出来る。
		25	観点別評価における評価材料、評価方法及び評価基準を確立させる。	A	
		26	実用英語検定など、4技能資格試験におけるスコアの伸長を図る。	A	
	保健 体育	27	保健体育の授業を通じて、将来に渡って活躍することのできる基礎体力と実践的な知識の獲得を促進し、成長を実感し、静学に入って良かったと思える土台づくりをする。	A	
28		豊富な運動量を確保して体力の向上を目指しつつ、問題点を把握したり、解決方法を導き出し、気づきと発見を促し、知的好奇心を刺激する。	A	●ヒトは、「最後は体力」です！成長期がまだ終わりにない中学生や、一番骨や筋肉がよい状態である高校生が、残りの人生を謳歌するために、保体教育で、健康寿命が伸びるようなアプローチを常に考えながらサポート願います。●具体的施策及び計画の「運動量の確保をするために、礼節やマナーのためにも授業の開始時間をきちんと守り、できるだけ充実した活動を送れるように意識して取り組む」は、共感いたします。新体力テストの優良校になり、結果として向上が感じられるので継続していただきたい。	
29		新課程に関する授業内容の改善、評価方法の見直しを進めながら、生徒の教育効果を高め、満足度を上げる。	A		
技術・ 家庭	30	生活と技術についての基礎的な理解を図るとともに、それらに係る技能を身に付けるようにする。	A		
	31	実技・実習を通して生活的自立のスキルを身に付け、協働の力を育む。また、生活に役立つ作品作りを通して、ものづくりの喜びを知らせる。	A	●保体にも通じますが、栄養面の管理が大変重要である人類は、若いうちに正しい知識と行動をした方がよいので、生活習慣の重要性は、特に重点課題で、今後ともサポート願います。内容を含め、概ね高評価です。●保育実習・調理実習などの体験や実習を多く取り入れることを意識しており、知識だけでなく技術が身につくような授業展開が、想像出来る。	
	32	生徒が充実し安全に実習や製作に取り組めるように実習室の環境を整える。	A		
芸術	33	教科の本質を踏まえた授業により、生徒が生活や社会の中で芸術や芸術文化と豊かにかかわる資質・能力を育成する	A		
	34	教科の特質に応じた「見方・考え方」を働かせ、社会や文化と深くかかわる学習過程を創造する	A	●AIに支配されずに、唯一個性が表現できる場となるので、豊かな人生を歩むためにも、継続して素晴らしい目標・計画を維持願います。達成状況も見てAに値する内容だと思います。●生活や社会の中で芸術や芸術文化と豊かにかかわる資質・能力を育成する」という目標の下、作品や楽曲を味わいながら正しい答えがない問いに立ち向かい、仲間とともに追究し合う楽しさを味わわせることは、芸術科目の本質と考える。推薦入試における評定平均値が、重要な要素となっている現状を考えると主要5教科以外の教科の評定を評価担当はどのように考えるか、「適切な評価基準を設定」には、難しい点もあるかと思います。	
	35	適切な評価基準を設定し、単元や題材のねらいを明確にする	A		
情報	36	生徒一人一人の好奇心を高めながら、情報機器を表計算による統計処理や情報整理、プレゼンテーションによる表現の道具として適切に活用できるように育成する。	A	●卒業後、大変苦労していく内容だと思いますので、目標・計画にあるように、丁寧に個々にサポート願います。是非とも継続して、創意工夫も重ねて下さい。●生徒個々の能力、知識には差があるので、基礎的な内容から丁寧に扱うことは、大事と知。また、基本的なワープロ、表計算、プレゼンテーション、新しく加わったプログラミングについては、実習を通じて知識、技術の習得が必要であり、しっかりとした方針を感じます。●「情報」専門教員の充足を。PCなどの機器はそろってきているので、オンライン授業も含めて充実を。	
	37	情報の収集・処理・表現を通して広くコミュニケーション能力を養い情報社会に積極的に参画する態度を育てる。	A		
教務 課	38	教務課から全教員への周知事項を徹底し、全教員が共通認識を持って教育活動を行ない、教育活動の円滑な推進を図る。	A	●教育活動の円滑な推進に向け、今後も全教職員の共通認識をもてるように尽力したい。●PDCAが上手く機能しているように思います。丁寧に継続願います。●情報発信を円滑な教育活動に必須条件と考える点、直接的コミュニケーションを重視している点、分掌の中で核となる教務の方針として評価出来ます。●情報システムの活用が進んでいる。	
	39	教育活動が滞ることがないように配慮する。教務備品の管理を確実に。また、緑風塾・特別活動、学校行事について、先を見通しながら企画・情報配信を行う。	A	●先生方の負担が大きい気もしますが、緑風塾や特別活動は、その結果や効果がどのような形で評価していくのか、次のステップとして課題にして欲しいです。あくまでも、先生方の負担が大きいことが懸念事項なので。●各教科、各学年に配慮して業務を遂行している様子で随所に窺える。地味であり、確実さ、地道さを求められる分掌であるがそれに十分に応えている。	
	40	教務課内の協力体制の強化に加え、日課業務について情報管理課や研修課とも協力体制を築き、関連する業務を共有し協力体制を整える。	A	●この管理項目は、いかに循環させていくかが鍵です。以後も、しっかりサポート願います。●課内の協力体制の強化、日課業務について部内他課との協力体制を築ける事は評価出来る。未来の学校組織の中核を担うであろう人材が育ちつつあることも組織力の確かを感じる。	

【学年・教科・分掌についての評価と提言】

評価 A ほぼ達成(8割以上) B 概ね達成(6割以上)
C 変化の兆し(4割以上) D 不十分(4割未満)

学年・教科・分掌	担当	No.	令和5年度重点目標	委員評価	外部評価委員の意見及び次年度への提言
教務部	情報管理課	41	静岡県「ふじのくに」学校教育情報化推進計画・法人の新高校整備計画・情報セキュリティ基本方針・インフラ整備提案依頼書などに従った情報システムを構築する。	A	●よく管理できています。●目標を達成するために行った具体的な事項をみ限り、適切な取り組みと、期待した成果は得ることが出来たと思う。●どの重点目標も情報システムを利用した改善が見られる。
		42	教務課・研修課・進路課と連携し、各アプリケーションにおける操作、データ連携を高める。	A	●新しい評価法に関するデータ収集を重ね、次年度以降に是非とも役立ててください。●目標を達成するために行った具体的な事項をみ限り、適切な取り組みと、期待した成果は得ることが出来たと思う。●IT化、デジタル化は学校経営上も重要。IT化が負担の軽減や業務の効率化につながるよう取り組んでほしい。
		43	学校と、保護者・生徒との連絡、成績の一元化を目指す。	A	●初めて触れた方もい中で、BLENDIによる管理ができたことは、チャレンジしたこと、管理できたことは高評価できます。●重点目標中の「成績の一元化を目指す」が示す内容がはっきりしない。成績評価の統一基準のことと考えることができるが、違う概念であるならば、考慮する必要がある。
	研修課	44	教員の授業改善および授業力向上を図る。	A	●目標・計画・実行ともよくできており、多忙な中、管理できていると思います。●次年度も研修に力を入れ、授業力・人間力の向上に励んでいただきたい。●新任教員の初年度研究授業、外部支援教員を招聘した各教科1名ずつ研究授業の実施、授業評価アンケートを年2回実施し、全教員が授業改善計画書を提出する取り組みなど高く評価出来る。●やるべき取り組みをきちんと実行している。
		45	研修を通して教員の資質能力の向上を図る。	A	●次年度以降も継続願います。●発達障害の生徒に対する対応の仕方の研修は、大変重要なことと考えます。また、学校運営や教科指導、生徒指導等の能力向上を図った研修も必要であると思います。●具体的な事項から取り組みの充実ぶりが伺える。
		46	教務部の各課と連携し、円滑な業務遂行を図る。	A	●機能されていると思いますので、高評価です。●ITの活用を図るとともに、コミュニケーションにも力を入れたい。●教材研究、クラス運営、部活指導等々、日々の多忙な業務の中で、コミュニケーションが不足ゆえの連絡漏れがあったとしても、大過に至らなければよしとしてほしいと思います。●作業的な部分は連携が実現できているが、解釈的・評価的な取り組みにやや欠ける。
生徒指導課	47	生徒の自主性、主体性の育成を目指した生徒指導。	A	●生徒のエネルギーを上手に引き出すことができた。●明るい雰囲気に戻り、活気づいた生徒が多く、安全・安心の生活が送れている賜物だと思います。継続管理をお願いします。●教員主導から生徒の自主性、主体性育成を考えた指導目標は評価される。昨年度と違って達成するために行った具体的な事項にそれらの取り組みが現れており、分かりやすくなっている。●学校からの呼びかけに応えた生徒がどのような自主性を発揮したかがわからない。	
	48	学校生活における基本的な生活習慣の習得、自らルールを守る心づくり。	A	●基本的な生活習慣ができていない生徒や、ルールが守れない生徒への指導は中々大変だと思います。自主性を重んじるのも大切ですが、交通指導は、抜き打ちで遠方で行ったり、ご家庭への協力を仰いで、就寝時間や起床時間の報告を求めたり、休日の過ごし方のチェック強化など、やれることを少しずつ実施して、緊迫感をあたえるなど、試みも検討してみたいかと思いますが、●生徒指導に悩まされる点も多く、この点で生徒との共通意識、同一価値観を持つことは、容易なことではないと思います。重点目標「自らルールを守る心づくり」に生徒一人ひとりが少しでも近づけたら、と思います。	
生活部	保健衛生課	49	心身共に健康な学校生活を送るため、生徒自身で健康管理できるようにする。	A	●PDCAが上手に機能しているので、継続して対応願います。●目標を達成するために行った具体的な事項をみ限り、適切な取り組みと、期待した成果は得ることが出来たと思う。●ソーシャルワーカーとの連携は以前から指摘していることと思うので、喫緊の課題として取り扱ってほしいですね。●学校の取り組みはわかるが、生徒自身が健康管理している姿が見られない。
		50	感染症の予防、対策を行う。	A	●クラスの保健委員を指導し、動かす取り組み評価します。このような活動が生徒自身の変化、成長に繋がってくるものだと思います。新型コロナウイルス感染症は落ち着いたが、インフルエンザも含めて感染症の脅威は減らない。最近では、はしかが流行したほか、「人食いバクテリア」と呼ばれる劇症型溶血性レンサ球菌感染症の報告例も相次ぐ。油断せずに感染症対策を徹底してもらいたい。
	51	生徒のレジリエンス(心の回復力・しなやかさ)を育てる。	A	●繊細な取り扱いを強いられることがあると思いますが、今後はしっかりフィードバック体制を図るようお願いします。●保健室は、生徒の精神面を支える学校での拠り所であると考えます。養護教諭は、知識のみならず人間性も重要になっております。学園の取り組みは、細部、かつ多岐にわたっており、日常指導のきめ細やかさを感じます。●ここでも情報システムがうまく生かされている。	
安全整備課	52	学校施設の日常時・非常時における機能的な防災安全体制の構築。	B	●次年度以降は、少し、目標や計画の見直しをして、小中時代に培われていない部分があると認識して、中1及び高1において、手厚いサポートをして防災安全体制の理解を深めるのは最重要だと思います。●次年度も様々な事態を想定した訓練を企画立案実施したい。●災害時(地震、大雨等)における地域住民との共通認識についての確立が急務と思われる。生徒在校時に防災し、住民が避難してきた際の対応。また、早朝、夜間に防災した場合、大雨の際、道路への流水についての住民不安。学園の方針、考えをいずれかの機会に説明する必要を感じます。●取り組みの内容が以前と変わらないのであればB評価で構わない。	
	53	定期点検や危険箇所への対処を万全なものとし、施設・設備の改善、保全を図る。	A	●言われたことだけやる生徒は多いと思います。総括を確認しましたが、コミュニケーションが難しいことが影響して、結果、連絡網が機能しなかったり、施設や設備の見落としが安全設備課の根幹を揺るがします。この部分は自衛隊員にしっかり管理できることを目標に据えるなど、尽力してほしいです。結果、安全・安心な学校生活が送れると思いますので。●目標を達成するために行った具体的な事項をみ限り、適切な取り組みと、期待した成果は得ることが出来たと思う。	
進路部	進路指導課	54	進路シラバスに基づいた進路指導計画を実施するとともに、進路指導室の活用を促す。	A	●目標において、進路指導室は、生徒に対して、一方通行の感じが計りません。生徒が活用することを目標にするのではなく、進路指導を実施するだけでよかったのではないのでしょうか。計画内容や評価の内容が充実していることで、目標の表現を少し見直していただくと幸いです。●目標を達成するために行った具体的な事項をみ限り、適切な取り組みと、期待した成果は得ることが出来たと思う。
		55	大学進学数値目標(国公立大学100、難関私立大学120)達成のために、補講を計画・実施するとともにテスト分析とフィードバックの仕組みを構築する。	A	●目標や計画・実行に対しては一定の評価はできますが、大学進学数値目標につながる形になっていたのか否かについて、少し分かりにくい感じがします。進路指導課としては、生徒本人の満足度から評価されるのがベストだと思うので、進学数値目標というより、満足度評価も加えて、これだけ色んなサポートをしている評価がむくわれる目標にしてみたいかと思いますが、●国公立大学、難関私立大学の合格実績は、学園の教育力、指導力の現れとして大いに評価いたします。同時に、合格者数という数字上の目標達成に固執せず、受験が生徒個々の目標達成の一過程というこも理解させて欲しい。●数値目標が示されているのに、数値に基づいた評価がなされていない。
	56	大学入試改革に関する情報収集を行い、進路指導計画へ迅速に反映させる。	A	●上述した内容の通りで、本項目は大変良く出来ていると思います。少し施策がかぶるので、進路に関する項目をシンプルに捉え、評価できる形にした方がいいと思います。結果は恐ろしく、かなり重要な項目ですので、分掌目標のh進学実績の向上を外さない重点課題を捉えていきましょう。●全教員に指導分野の登録させ、小論文の個別指導を割り振る体制を継続していることは、大変有意義なことだと思います。100人を越える生徒が指導を希望しており、生徒自身にも必要性が認識されている。●全体としてはB評価であるとしても、小論文指導に関しては十分に評価できる。	
学び支援課	57	SGTの外部講師講座は、毎年新しい講座を加えると同時に見直しを図り、体験を通じて各生徒の特技を増やしたり高めたりすることで、今後の生活で生かせる講座を提供できるようにする。	A	●SGT開放日で、一般参加も受け入れる等、刺激も欲しい所ではないでしょうか。試みは、いつも高評価です。●SGTの外部講師講座に、新しい講座を加えたり、見直しを図っている点、その様な姿勢は、重要だと思います。是非、体験を通じて各生徒の特技を増やしたり高めたり、今後の生活で生かせる講座を提供できるようにしていただください。●継続的な取り組みの中で、新しい取り組みによる一層の改善を行っている点は評価できる。	
	58	SGTの講座(外部講師と内部講師の両方)の広報活動を工夫し、SGTの参加率を高める。	A	●そろそろ、参加率を鑑みて冷静な判断を下す時期かもしれません。課の負担軽減の方が、全体の効率が良くなるのであれば、抜本的な見直しが必要だと思います。●今年度のSGTに参加した生徒数が、中学が75人(26.2%)、高校が85人(11.0%)というのが高いが、低いか、低いか、判断に難しいのですが、適切な取り組みと、期待した成果は得ることが出来たと思う。●継続的な取り組みの中で、新しい取り組みによる一層の改善を行っている点は評価できる。	
	59	分掌組織として機能するように、分掌内や関連する分掌外の組織との連携を図る。	A	●企画・運営は、大きな視野でとらえ、動画配信、海外メディア、宇宙からのライブ配信など、連携については、アイデアを保護者様からも取り入れるべきかと存じます。注目度が上がれば、自ずと参加率も上がると思うので。●SGTと各種イベントのマッチングに配慮し、一人でも多くの生徒に講座を提供したい。●「進路部学び支援課」、やや立ち位置がわかりにくい気がしていました。「組織として機能するよう、分掌内や関連する分掌外の組織との連携を図る」ということに意義を感じました。	

【学年・教科・分掌についての評価と提言】

評価 A ほぼ達成(8割以上) B 概ね達成(6割以上)
C 変化の兆し(4割以上) D 不十分(4割未満)

学年・教科・分掌	担当	No.	令和5年度重点目標	委員評価	外部評価委員の意見及び次年度への提言
総務管理部	総務管理課	60	入学式、始業・終業式、体験入学、入試説明会などの行事を、丁寧に遂行する。	A	●様々な工夫を生かした行事が定着してきていると感じる。●問題なく機能していると思います。●入学式後のオリエンテーションで、保護者は、教室にてリモート配信、新入生は、オリエンテーション形式で学校を探索したことなどは、新鮮な取り組みと感じます。
		61	開校記念式・記念講演や芸術鑑賞などを通じ、良質な文化資本を提供し蓄積する。	A	●提供された企画に対して、アンケート結果などがあると今後の展開に役立てると思います。次年度からは、特に良質は文化資本の提供があった際は、生徒や保護者様等の感想を必ずチェック項目としていただきたいです。●開校記念式・記念講演、その他講義に招聘した方々、多岐にわたり良い人選と感心します。講演に接した生徒に与えた影響は、きっと大きいものに違いない。また、講演にさきがけての「事前学習」に取り組むなど工夫を感じる。
		62	PTAや同窓会などの活動を通じ、在校生の応援団となるよう、ご縁を結び絆を深める。	A	●人を大切に、人との関わりを意識していることは素晴らしい。●細やかな配慮がされており、大変とは存じますが、目標・計画を継続願います。●目標を達成するために行った具体的事項をみれば、適切な取り組みと、期待した成果は得ることが出来たと思う。●サッカー部は、一層の活躍を期待している。地域も応援している。
	図書課	63	正しい情報を見極める力を養い、その情報に基づいた教養を育成する。	A	●目標にや計画に対して、かなり具体的な実行で達成できているので高評価です。●価値基準、判断基準の涵養に関わり、青年期の人格形成に影響を持つと考えられる読書、また、間接的ではあるが学力定着とも関連がある読書。受験という二文字を取り除き、図書館も選書してほしいと思います。●学校図書館が様々な活動で生かされていることがよくわかる。
		64	知識を深め、自分の考えをまとめたり、発表する力を伸ばす。	A	●次年度以降も、今年度のいい所を踏まえ、計画・実行に役立ててください。●図書館ガイダンスの実施方法、環境問題レポート作成手助け、図書課員による選書委員会等、実施重点目標達成のために行った具体的事項は、的確であり、取り組みの真剣さを感じる。●学校図書館が様々な活動で生かされていることがよくわかる。
		65	創造力を備えた豊かな心を育むために必要となる読書活動を推進し、そのための環境を整える。	A	●生徒の育成や環境整備にまず、教職員が取り組んでいる。●生徒ファーストの配慮がされており、大変素晴らしい工夫がされていると思います。環境の提供は高評価です。想像力を備えた豊かな心を育むための施策や評価は難しいですが、こちらの側面に対する何かしらの具体的な方策を次年度以降は考案願います。●様々な工夫、仕掛けにより、読書活動を推進し、そのための環境を整えていく努力を感じます。生徒が読みたい本、生徒に読ませたい本の両方をいかに組み合わせ揃えていくか、難しいことではあるが、取り組んでいかなければならないことだと思う。
	国際交流課	66	ポスト・コロナを意識し、国際交流プログラムを活性化させ、生徒に様々な機会を提供する。	B	●厳しい環境下で、語学研修が出来たことは誇らしいことだと思います。ご尽力下さった皆様に感謝です。●焦らずに進めたい。●「Ukraine語のSGTを開講検討を重ねたが実現出来なかった。Ukraine戦争がUkraine側の敗北で終わり、日本に来るUkraine難民が増加すれば、静岡市内で講師を探すことも出来るかもしれない。」と、目標を達成するために行った具体的事項で述べると講師確保の為にそれを期待しているとも捉えかねない。●新型コロナウイルス感染症の影響が完全に払拭できない中で、事業が進展しないのはやむを得ない。その中で何が出来るのかを追究してほしい。●新しい取り組みを始めるのはハードルが高いが、来年度も継続してチャレンジしてほしい。
		67	中・長期留学生の受け入れの検討。特にウクライナ避難民の受け入れについては慎重に検討する。	B	●計画当初と状況が変化した場合も含め、今後は、修正した目標を作り、管理できるようにするなど、変化に対応できるようにしておくのがベターだと思います。したが、目標の見直しは、国際交流課だけでなく、他部署でも要注意です。●昨年度と同様の重点目標を掲げているが、昨年度の評価に関する反省があったのかどうか不明である。国際交流課が学園の教育に如何に関わろうとしているのか。●新しい取り組みを始めるのはハードルが高いが、来年度も継続してチャレンジしてほしい。
		68	スケジュールの視覚化と業務に対する理解を深め、共有する。	B	●語学研修の場所を変更する試みを図るなど、施策の見直しも検討してみてください。今年度の目標は遂行できていると思います。現実問題として、国際交流ができる学校を一つの指標として入学動機にする生徒や保護者もいると思うので、臨機応変に対応できるような幅広い対応を期待しております。●感染症の影響が残るなかでの運営で、思うような運営がなかなか出来ないとは思いますが、異文化との交流により生徒の視野の拡大を図る今後の取り組みを期待しています。●準備段階ということでB評価であるが、来年度以降の展開が楽しみである。